

2009年3月9日

報道関係各位



インフラ整備関連企業へのテーマ投資を
e ワラントで可能に！
「インフラ整備バスケット e ワラント」
3月16日より取扱開始

ゴールドマン・サックス証券株式会社(社長:持田昌典、所在地:東京都港区:以下「ゴールドマン・サックス証券」)は、2009年3月16日(月)より、「インフラ整備バスケット e ワラント」の取扱いを開始します*1。

「インフラ整備バスケット e ワラント」は、建築、セメント、鉄鋼、電線・ケーブル、建設機械といった代表的なインフラ整備関連銘柄から構成される銘柄群(テーマバスケット)を対象とした e ワラントです。

世界的な景気・雇用対策と日本国内の政局の行方に鑑み、仮に今後、学校等の公共施設の耐震改修、道路・橋梁の補修、通信インフラの整備といった分野において大規模な財政出動が日本国内で行われる場合においてはインフラ整備関連銘柄への注目が高まることが考えられます。一方で、インフラ整備関連銘柄には大きく株価が調整しているものも多く、また、企業の業績回復は一様ではない可能性もあります。このため、インフラ整備を投資テーマとして考えるのであれば、関連銘柄への分散投資と、少なくとも半年から1年程度の投資期間は考えておく必要があるかもしれません。そこで、比較的容易にインフラ整備関連銘柄へのテーマ投資を行える投資商品として、投資家の皆様に利便性の高い投資機会を提供すべく、ゴールドマン・サックス e コマース部によって「インフラ整備バスケット e ワラント」が開発されました(日本国内での取引開始日から満期日までの期間が約1年あり、設計時点でのレバレッジは約1.4倍程度を想定しています)。

インフラ関連企業の株式への投資をインフラ整備バスケット e ワラントによって行なうメリットは以下の通りです。

- **銘柄を個別に選択することなくテーマ投資が可能**
インフラ整備バスケット e ワラントを用いれば、銘柄選びにかかる労力と時間を省いてテーマ投資が可能になります。また、複数の銘柄に同時に投資することで、1つの銘柄に資金を集中させることにより生じるリスクをある程度軽減することができます。
- **数万円程度から投資が可能**
インフラ整備バスケットの構成銘柄を最低単元ずつ購入した場合、約273万円が必要になります(3月5日終値ベース)。一方インフラ整備バスケット e ワラントなら、数万円程度からの投資が可能です。

e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください
<http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

- 株式投資に比べて一般に大きなリターンの可能性に挑戦できる *2
- 210 円～2,100 円の割安な売買手数料(取扱金融商品取引業者によって異なる)
 インフラ整備バスケットの構成銘柄全 13 銘柄を一度に取引すると、個別株式 13 銘柄分の売買手数料がかかります。一方インフラ整備バスケット e ワラントであれば、e ワラント 1 銘柄分の売買手数料に抑えることができます。
- レバレッジ投資*2 でありながら、損失が投資元本に限定されている(手数料を除く)
- 9:00 から 23:50 まで取引可能*3
- 主要オンライン証券 6 社を通じて取引が可能

*1 e ワラントのお取引は取扱金融商品取引業者を通じてのみ可能です(ゴールドマン・サックス証券で直接購入することはできません)。

*2 eワラントの価格形成には対象原資産の価格変動に加えて時間経過などさまざまな要因が影響を与えます。また、eワラントの価格が極端に低い場合には、対象原資産の値動きにほとんど反応しない場合があるので注意が必要です。なお、多くの場合eワラントの価格は、時間の経過に伴い、営業日であるか否かに関わらず暦日上(カレンダーベース)の1日単位(土日祝も含みます)で減少していきます。(ただし、極端なイン・ザ・マネー状態にある場合などの例外があります)

*3 外国証券内容説明書に定める理由により取引が停止されている場合があり、9:00～23:50までの間いつでも取引が可能なのではありません。また、取扱金融商品取引業者によって一部取引時間が異なります。

「バスケット eワラント」は、「市場で動向が注目されている」をキーワードとしてカテゴリー化される上場株式群(バスケット)を1つの投資対象として指数(インデックス)を算出し、それを投資対象とするeワラントです。その構成テーマは、ゴールドマン・サックス証券のグループ会社であるゴールドマン・サックス・インターナショナルが機動的に選択し、また発行後は電子的マーケット・メイクを行います。

取扱金融商品取引業者

「インフラ整備バスケットeワラント」の取扱いは、株式会社SBI証券、カブドットコム証券株式会社、クリック証券株式会社、松井証券株式会社、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社(50音順)の6社にて行なう予定です。

インフラ整備バスケットの構成銘柄

証券コード	銘柄	組入れ株式数	構成比
1801	大成建設	0.408163265	8.00%
1802	大林組	0.186480186	8.00%
1803	清水建設	0.210526316	8.00%
1812	鹿島	0.331950207	8.00%
5232	住友大阪セメント	0.288461538	6.00%
5233	太平洋セメント	0.394736842	6.00%
5401	新日本製鐵	0.280701754	8.00%
5405	住友金属工業	0.386473430	8.00%
5411	JFE ホールディングス	0.031936128	8.00%
5801	古河電気工業	0.254777070	8.00%
5802	住友電気工業	0.107382550	8.00%
6301	コマツ	0.077594568	8.00%
6305	日立建機	0.074349442	8.00%

*インフラ整備バスケットは 2009 年 2 月 6 日の終値(以下、「基準時」といいます)に基づいて組成されており、基準時のインデックスの値は 1,000 となっています。構成比は基準時のものであり、株価の変動により変化します。また株式分割等の理由により、組入株式数が調整されることがあります。本バスケットの構成銘柄、基準時のバスケット構成比率はゴールドマン・サックス証券 e コマース部の提案に基づき、ゴールドマン・サックス・インターナショナルによって決定されたものであり、ゴールドマン・サックスの投資調査部門が選定・決定したものではありません。また、本バスケットの価格は、基準時の構

e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください
<http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

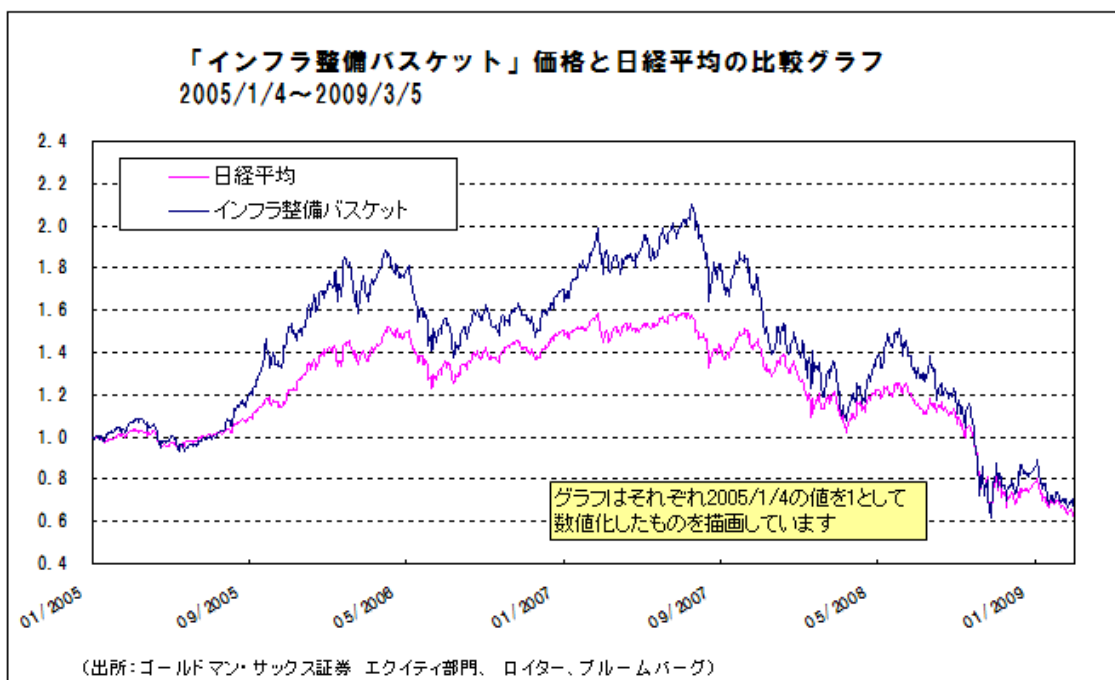
成銘柄の価格水準、市場全体の動向、構成銘柄固有の要因等によって変動します。このため、仮にインフラ整備に関連する各種要因や各企業の業績への影響などが認識された場合においても、上記企業の株価に影響を与えない、影響を与えるまでに本バスケットの満期を越える期間を要する、または影響が軽微である可能性があります。さらに、インフラ整備に関する各種統計の公表結果などと、本バスケットの価格の連動性は一切保証されるものではありません。

インフラ整備バスケットを対象に発行される e ワラントの詳細

今回発行される e ワラントは、他の条件が一定であることを前提とした場合*、対象バスケット・インデックスの価格の上昇によって利益を期待できるコール型 1 銘柄です。

* e ワラントの価格形成には対象原資産の価格変動に加えて様々な要因が影響を与えます。例えば、価格変動要因のうち時間の経過のみを考慮した場合、時間が経過することによって e ワラントの価格は一般に減少します。e ワラントには満期日が決まっており、その前に転売しなければ、満期日においてイン・ザ・マネーの場合には満期参照価格と権利行使価格の差額を上回る部分の価値はゼロになり、アウト・オブ・ザ・マネーの場合にはワラントの価値はゼロになります。また、低価格の e ワラントは値動きが極端に小さくなる場合があります。

対象原資産	ワラントタイプ	回数	権利行使価格	満期日
インフラ整備バスケット	コール	1	300 円	2010 年 3 月 10 日



*上記はあくまでも過去の値動きであり、必ずしも将来の結果を保証するものではなく、何らかの行動を勧誘するものではありません。最終的な投資の判断は、ご自身の責任で行ってください。

「e ワラント」の概要

- 対象原資産: 国内外個別株式、国内外株価指数、バスケット、為替リンク債(米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドル、英ポンド、ニュージーランドドル、南アフリカランド)、コモディティリンク債(原油(WTI)先物リンク債、金リンク債、銅リンク債、アルミニウムリンク債、コーン先物リンク債)
- 満期: 発行時から 3 ヶ月-1 年程度
- 最低必要資金: 数万円程度(1 単位当たり約 10 円)
- 取引単位: 1,000 ワラント単位

e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください
<http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

- ・ 取引価格: ゴールドマン・サックス・インターナショナルが売値・買値を決定
- ・ 取引決済: 取引日の3営業日後(通常の株式の決済と同様)
- ・ 配当金等: 配当金、株主優待無し(ただし、満期日までの予想受取配当金はあらかじめ購入金額の計算に織り込まれています)
- ・ 主なリスク
 - 価格変動リスク: 一般に対象原資産に比較して価格変動リスクが高く、損失の可能性が極めて高いものになっています。
 - 信用リスク: 発行者のゴールドマン・サックス・インターナショナル及び保証者のザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが破綻などの事態に陥った場合には、権利の一部または全部が支払われないことがあります。
 - 取引停止リスク: システムに異常が生じた場合や、対象株式の売買が停止している場合、その他ゴールドマン・サックス・インターナショナルがマーケット・メイクを行わない場合などには、取引ができません。
 - 税務リスク: 総合課税となります。また、将来税制が投資家に有利、又は不利に変更される可能性があります。
 - 決済リスク: 事務手続きのトラブル、決済機関のトラブル等により、購入代金の払い込み、売却代金の受取りに支障をきたす可能性があります。
 - ミストレード: 「カバード・ワラントのミストレードおよび約定取消し取引に関する規程」で定める内容に従い、取扱金融商品取引業者から投資家にミストレードの通知がなされた場合には、本規定の手続きにしたがって当該ミストレード及び約定取消し取引は取り消されます。

詳細につきましては、最新の「外国証券内容説明書」にて必ずご確認ください。

ゴールドマン・サックス証券について

ゴールドマン・サックス証券株式会社は、ニューヨーク証券取引所上場の銀行持ち株会社、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。1974年に東京駐在員事務所開設、1986年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となりました。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

ゴールドマン・サックス証券株式会社 コーポレート・コミュニケーションズ

TEL:03-6437-1648

FAX:03-6437-1646

URL <http://www.ewarrant.co.jp>

e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください
<http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

e ワラント(カバードワラント)は、対象原資産である株式・株価指数、預託証券、通貨(リンク債)、コモディティ(リンク債)の価格変動、時間経過(一部の銘柄を除き、一般に時間経過とともに価格が下落する)や為替相場(対象原資産が国外のものの場合)など様々な要因が価格に影響を与えるので、投資元本の保証はなく、投資元本のすべてを失うおそれがあるリスクが高い有価証券です。また、対象原資産に直接投資するよりも、一般に価格変動の割合が大きくなります(ただし、e ワラントの価格が極端に低い場合には、対象原資産の値動きにほとんど反応しない場合があります)。

さらに、取引時間内であっても取引が停止されることがあります。詳細は、最新の外国証券内容説明書をご参照ください。

商号等/ゴールドマン・サックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 69 号

加入協会/日本証券業協会 (社)金融先物取引業協会

1 取引あたりの委託手数料は各取扱金融商品取引業者により異なります(平成 21 年 3 月現在、最大 2,100 円(税込み)) また、お客様の購入価格と売却価格には価格差(売買スプレッド)があります。